

令和 5 年度基本方針について

理事長 岸 一盛

(1) 組織づくり

①事務局及び事務処理の改革（継続）

- ・ 県協会事務局並びに各委員会の事務局の業務の整理と活性化を図る。
- ・ 事務局においても、協会業務を行える担当者（体操・トランポリン）の育成が必要である。

②各委員会としての組織づくりについて

昨年の反省に基づき下記方針のもと活動を進める。

- ・ 国体強化、令和 5 年度強化策を検討
- ・ 世界選手権、オリンピック支援（トランポリン）
- ・ 若手理事を各委員会に入れ育成する。

(2) 強化に関する具体的な方針

①一貫指導と中長期的な育成方法を確立する。

②世界選手権、オリンピック強化（トランポリン）

③国体強化に向けた組織的な運営

- ・ 体操・新体操・トランポリン選手強化組織づくり
- ・ 強化指定選手の育成
- ・ 体操競技、ジュニア強化と指導者の育成

(3) 普及に関する具体的な方針（継続）

- ・ 各種別一貫指導強化対策を検討し目標を明確にする。
（具体的な対策・目標を協議する）
- ・ 新体操男子指導者の育成と選手の普及・育成を早急に行う。
- ・ ジュニア強化の見直し（選手、指導者）

(4) 北信越大会（4 大会）について

- ・ 令和 5 年度 北信越中学（8 月）、北信越ジュニア大会（10 月）
- ・ 令和 6 年度 北信越高校（6 月）、北信越国民体育大会（7 月）

(5) 石川県体操協会 80 周年記念事業について

- ・ 石川県体操協会 80 周年記念事業を行うことにより、過去を振り返ると同時に未来に向けて、協会組織の新しい方向を模索する契機とする。
- ・ 令和 5 年度に準備委員会を発足
80 周年の準備を進める中で、協会の問題点を洗い出し、時代に合った組織となるように検討を進める。
- ・ 令和 6 年度には実行委員会とする
記念事業の準備はもちろん組織の改革に取り組んでいく。